

全国城下町青年会議所連絡協議会
第27回全国城下町シンポジウム唐津大会

企画書(案)

シンボルマーク



テーマ

「GABA-YOKA！」

スローガン

「YOKA まち YOKA ひと YOKA からつ」

開催日 2008年 6月 6日(金) 7日(土) 8日(日)

開催場所 唐津市

主催 全国城下町青年会議所連絡協議会

主管 社団法人 唐津青年会議所

第27回全国城下町シンポジウム唐津大会
実行委員会事務局

〒847-0013

佐賀県唐津市南城内2-6

TEL 0955 (73) 7205

FAX 0955 (73) 8119

E-Mail jc228@pol.people-i.ne.jp

全国城下町青年会議所連絡協議会の沿革

全国城下町青年会議所連絡協議会とは、全国の城下町をふるさとにもつ青年会議所が入会し、同じ城下町という視点からまちづくりを考え、「よみがえれ城下町」のスローガンのもとに、お互いの連携を強化し将来のビジョンをつくるため結成された組織です。第1回全国城下町シンポジウム大会の松本大会から3年後に協議会組織が設立され、正式名称「全国城下町青年会議所連絡協議会」通称「全城連」と言います。2008年1月現在、65都市の各地青年会議所が加盟し、そのメンバー総数は約5500名に上ります。

全国城下町シンポジウム開催の目的

ほぼ400年以上の歴史を持つ私たちの住む城下町は、いま大きな試練に立たされています。市民の道標であるべき天守閣は、高層ビルディングの谷間に埋もれようとしています。歴史の風雪に耐えてきた建造物はしだいに姿を消し、文化遺産である地名は捨て去られようとしています。地域の特色ある産業に支えられた豊かな生活の実現は、きわめて苦難な道をたどりつつあります。

しかし、城下町特有の景観や地名を、子供達を含む市民の多彩な運動で再評価し、生活に生かすことが、これからのまちづくりに物心両面から重要な手がかりになることは明らかです。城の石垣、濠の水に映る緑、小路のたたずまいは、技術革新の時代、高速道路、空港やコンピューターの時代と矛盾しあうものではありません。400年以上の城下町の歴史で培われた市民の文化は、地域産業の新しい展開にとっても、かけがえのない遺産であり価値です。

(第1回大会 宣言文より抜粋)

このような認識を持つ全国の城下町に住んでいる仲間達が、城下町という共通の観点から何ができるか考えようと「よみがえれ城下町」のスローガンのもとに1982年7月17日、長野県松本市に集まりました。以来、毎年開催し継続され、先の上越大会で26回を数えるまでになりました。また、参加都市68の大きな大会となっています。

「全国城下町シンポジウム」とは、全国の城下町の青年達が一堂に会し、地域（まち）の人達とともに、地域（まち）の持つ可能性を見いだすための機会なのです。

第27回全国城下町シンポジウム唐津大会

大会理念

私達の住む唐津は、多くの生命を育む豊かな海、玄界灘を臨み、その名の通り古くは、唐（から：韓・唐）などの大陸との窓口となった津（みなと）とされてきました。その風土が織り成す歴史には、万葉の風・桃山文化の薫りとともに、その時代を生きた人々の息吹を感じることができます。このように、今尚私達を育む優雅な自然の恵み・風土・歴史は、全国に誇れるものだと思います。しかし、私達を育ててきたこのまちの誇りを、私達はどれだけ活かしているのでしょうか。

「自分のまちを誇る心」「自分のまちを愛する心」こそ「郷土愛」であると考えます。先人達は、この郷土を家族や子どもを愛することと同じような気持ちで愛し、自分達の手で築き上げてきました。そしてこの「郷土愛」を今後も持ち続けていくためには、夢や希望を与えてくれる地域の魅力を再発見し、それを活かしていく必要があります。この事は、唐津地域に住む我々にしか出来ないことであり、その地域に住む私達の使命であると考えます。つまり、まちの原動力とは、そこに住む人達の「郷土愛から生まれる元気」なのです。そして今、唐津地域に必要なものはその「元気」に他ならないと考えます。

唐津市は2006年1月までに、1市6町2村からなる大合併を果たし、九州でも有数の広さを誇る大きなまちになりました。「第27回全国城下町シンポジウム唐津大会」は、これからの唐津地域の可能性を確かめ、この愛すべき郷土を全国に広く強くアピールできる絶好の機会であると考えます。城下町というモチーフを掲げての一大イベントを開催する過程により、地域の方々と共に本大会をつくりあげ同時体験することで、人と人との力強いネットワークが生まれれば、認め合い助け合うことのできるまちづくり、即ち「元気が出るまちづくり」のきっかけになると考えます。また、本大会を通して一人ひとりがこの唐津地域の未来を真剣に考え、議論し、実働することが重要です。それは自分の住むまちの発展のために、自分の住むまちを誇りに思い、また、まちづくりを見つめ直すきっかけとしても、重要なものになると考えます。この地域の新しい可能性を本大会で育むことが出来れば、それは今後の唐津地域に「まちづくりの大輪の花」を咲かせる為の立派な土壌になると確信します。

私達は、本大会を通して、この地域に住む人々と協力し合い、地域の個性と知恵を活かす「元気が出るまちづくり」を提案し、更なる「郷土愛」を育み、これからの唐津地域のすべてが賑わいあふれるまちとなるために実働します。

そして、本大会を唐津地域に住むすべての人が手を取り合えるきっかけづくりとし、全国に誇れる“からつ”をつくるための大きな一歩とします。

大会プログラム (案)

	項目	会場	備考	開催時間
6 日 (金)	市長表敬訪問	唐津市役所	大会関係者向け	10:20~ 11:00
	成功祈願祭	田島神社 (唐津市呼子町)	大会関係者向け	14:30~ 14:55
	四員会	田島神社 (唐津市呼子町)	大会関係者向け	15:00~ 15:30
	役員会	名護屋城址 (雨天時:名護屋城博物館大ホール) (唐津市鎮西町)	大会関係者向け	16:00~ 17:00
7 日 (土)	開会式典	唐津市民会館 大ホール	大会関係者向け	12:00~ 13:10
	メインフォーラム	唐津市民会館 大ホール	一般公開	13:30~ 15:00
	エクスカージョン (分科会)	唐津市内各所 4コース	関係者	14:00~ 17:00 (受付13:30~)
	市民共催事業 「からつ祭百景」	唐津市中央商店街	一般参加型	12:00~ 17:00
	サブイベント 「唐津城下四百年物語」	唐津市中央商店街・アルピノ・ 唐津駅周辺	一般参加型	10:00~ 17:00
	陸上自衛隊第4師団 音楽隊 唐津演奏会	唐津市民会館 大ホール	一般対象	18:00~ 19:45
大交流会	旧唐津東高校グラウンド (唐津城横) (雨天時:旧唐津東高校体育館)	関係者	18:30~ 20:30 (受付18:00~)	
8 日 (日)	閉会式	唐津市民会館 大ホール	大会関係者向け	10:00~ 11:40

(本プログラムは2008年5月段階のもので、変更される場合があります)

大会開催までのスケジュール（案）

2002年	1月	（社）唐津青年会議所が全国城下町青年会議所連絡協議会加盟
2007年	1月	京都にて開催された全国城下町青年会議所連絡協議会総会で（社）唐津青年会議所が第27回全国城下町シンポジウム主管立候補
2007年	2月	（社）唐津青年会議所にて第1回実行委員会開催
2007年	6月	上越にて開催された全国城下町青年会議所連絡協議会役員会で第27回全国城下町シンポジウムの唐津開催が承認
2007年	11月	大会プログラム概要の策定
2008年	3月	大会プログラムの最終決定・登録関係書類発送
2008年	4月	各種登録締切
2008年	6月	大会開催

大会概要

【開催日】・・・ 2008年 6月6・7・8日

【開催エリア】・・・ 唐津市

【動員予測】・・・ 大会関係者 約 1,300名
一般市民 約35,000名

【予算規模】・・・ 約2,400万円

【副主管】・・・ （社）伊万里青年会議所 ・ （社）鹿島青年会議所
（社）佐賀青年会議所 ・ （社）武雄青年会議所
（社）陶都有田青年会議所 ・ （社）鳥栖青年会議所
（社）姫路青年会議所

【後援】・・・ 佐賀県・唐津市・唐津市教育委員会・（財）唐津市文化振興財団

【名義後援】・・・ （社）日本青年会議所九州地区佐賀ブロック協議会
NHK佐賀放送局・佐賀新聞社

【企業広告協賛】・・・ 唐津市内各企業

大会内容企画案

(テーマについて)

大会テーマ「GABA-YOKA！」

豊かな自然と個性あふれる歴史風土をもつ「からつ」

唐津城築城400年という歴史的契機に本大会を開催するにあたり、参加されるすべての皆様と共に「からつらしい」最上級の形容詞をテーマに掲げさせていただきました。

(スローガンについて)

大会スローガン「YOKA まち YOKA ひと YOKA からつ」

YOKA まち 唐津に住む、または来訪される人々へ向けた、唐津の景観を形容する一言

YOKA ひと 城下町唐津の風情を醸し出す源泉である「ひと」を形容する一言

YOKA からつ YOKA まちに YOKA ひとが息づき、創り上げられるコミュニティの多様性を形容する一言

(シンボルマークについて)

シンボルマークは、城、城の下に虹の松原、バックに波という唐津を象徴するものを描いたデザインで、城の部分は、左に90度回転すると、アルファベットで「KARATSU」と読むことが出来る。

(式典について)

大会様式に則った式典を開催します。主に青年会議所会員向けの内容ですが、閉会式にて発表される「城下町宣言」は、我々(社)唐津青年会議所のみならず将来の「城下町からつ」発展の指標となるべく起草されます。

(メインフォーラムについて)

大会テーマ、スローガンや唐津の地域性を考慮し、選定された著名人もしくは有識者の講演をいただく予定です。

*参議院議員 鴻池祥先生を迎え(決定)、次世代を担う青少年に関するテーマ「世代を跨ぎ 目指そう 地域発展」で講演、青少年育成の講演会を目指す。

(エクスカージョンについて)

大会参加者向けに、唐津の特色ある地域資源をテーマ毎に分類し、巡回視察するコースを設定しました。「YOKA歴史コース・YOKA匠コース・YOKA海コース・YOKA町コース」の4つのテーマに沿って計画された参加者体験型のエクスカージョンコースを、地域の方々と共に運営いたします。

(サブイベントについて)

唐津城築城400年祭の中核イベントとして位置付けられた本大会において、大会趣旨にご賛同いただける各地域づくり団体の方々へ、大会期間中に開催されるイベントを募集いたします。エントリーいただきましたイベントにつきまちは、大会実行委員会にて審査し、大会広報誌へ掲載させていただきます。

(市民共催事業について)

唐津市の地域づくり団体の中で、本大会のスケールメリットを活かしたイベントを我々と協同で企画・運営いただける団体を募集いたします。また、全国城下町青年会議所連絡協議会加盟の青年会議所との協同事業も企画されます。

*7日(土曜日)「からつ祭百景」をテーマとし、会場は、中心商店街で、唐津市各地域のまつりの披露をし、一般の方の参加型のまつりも考案中。(詳細は、現在検討中)

(大交流会について)

本大会の特徴をもっとも色濃く出すことができるのが、この「大交流会」です。単なる懇親会ではなく、地域性を活かしたアトラクションや多彩な出展ブースなど、城下町の賑わいを復刻した盛大な交流会を企画いたします。

*旧唐津東高校グラウンド(唐津城横)にて開催予定(関係者のみの交流会を予定)

(過去の大会について)

全国城下町シンポジウム開催地

	開催年度	開催地	主管青年会議所	城名
第1回	1982年	長野県松本市	(社)松本青年会議所	松本城
第2回	1983年	石川県金沢市	(社)金沢青年会議所	金沢城
第3回	1984年	福島県会津若松市	(社)会津青年会議所	会津若松城
第4回	1985年	神奈川県小田原市	(社)小田原青年会議所	小田原城
第5回	1986年	青森県弘前市	(社)弘前青年会議所	弘前城
第6回	1987年	愛知県犬山市	(社)犬山青年会議所	犬山城
第7回	1988年	滋賀県彦根市	(社)彦根青年会議所	彦根城
第8回	1989年	香川県高松市	(社)高松青年会議所	高松城
第9回	1990年	山形県鶴岡市	(社)鶴岡青年会議所	鶴岡城
第10回	1991年	熊本県熊本市	(社)熊本青年会議所	熊本城
第11回	1992年	兵庫県姫路市	(社)姫路青年会議所	姫路城
第12回	1993年	三重県松阪市	(社)松阪青年会議所	松阪城
第13回	1994年	島根県松江市	(社)松江青年会議所	松江城
第14回	1995年	愛媛県松山市	(社)松山青年会議所	松山城
第15回	1996年	大分県中津市	(社)中津青年会議所	中津城
第16回	1997年	宮城県白石市	(社)白石青年会議所	白石城
第17回	1998年	兵庫県明石市	(社)明石青年会議所	明石城
第18回	1999年	大阪府岸和田市	(社)岸和田青年会議所	岸和田城
第19回	2000年	愛知県岡崎市	(社)岡崎青年会議所	岡崎城
第20回	2001年	山形県米沢市	(社)米沢青年会議所	米沢城
第21回	2002年	長崎県島原市	(社)島原青年会議所	島原城
第22回	2003年	富山県高岡市	(社)高岡青年会議所	高岡城
第23回	2004年	岡山県津山市	(社)津山青年会議所	津山城
第24回	2005年	長野県上田市	(社)上田青年会議所	上田城
第25回	2006年	愛媛県今治市	(社)今治青年会議所	今治城
第26回	2007年	新潟県上越市	(社)上越青年会議所	高田城
第27回	2008年	佐賀県唐津市	(社)唐津青年会議所	唐津城